二月同朋会より

前住職法話「お念仏のハタラキ」

「祟りはあると思いますか？」と聞かれたことがあります。これに私は「あると思う人にはある。ないと思う人にはない。ちなみにわたしにはありません。」と答えました。これは、霊があるのかないのか、ということだと思われます。私たちは「死」を考えると恐ろしい。無になると思うと恐ろしい。何かが残ってほしい。だから魂が残ると作ってしまうのではないでしょうか。では残った魂はどうなるのか。生の延長でしか考えられない私たちは幸せな魂と不幸な魂ができると考えてしまいます。実体としてないのに無になるのが怖いから作り、作ったものにとらわれて怖くなってしまう。思いで作ったものにとらわれている、これが私たちです。

そして、あなたは思いで作ったものにとらわれていますよ。本当のあなたはそうではなくて、存在そのものの願いを持って生きているんですよ、そのことに気づいてください、というのがお念仏のハタラキです。お念仏というのは、私が仏様を念じるのではなく、逆に仏様の方から私が念じられていることに気づかしめられるということです。そしてその仏の願いを本願といい、仏の本願はもともと私という存在そのものの願い（志願）だったことに気づかしめられるのです。霊があるのかないのか、ということではなく、とらわれている自分に気づく、そのことが大切なのではないでしょうか。

クリスマスローズ

『徳泉寺報』後記

絵本って本当に素晴らしい。厳選された短い言葉とその言葉を補って余りある絵。何回開いても違う発見があります。それを一緒に味わう友がいるという喜びも。絵本再発見の一日でした。

INFORMATION

東日本大震災から今年で十二年。十三回忌を迎えます。今月の同朋会はちょうど三月十一日だということもあり、同朋会の中で東日本大震災の追悼法要を行います。あの日に思いを馳せながら、懐かしい人を思い出しながら、ともに生きることを考えながら、今ある命を見つめる法要です。どうぞお出かけください。

3月同朋会

東日本大震災　追悼法要

勿忘（わすれな）の鐘

日　3月11日（第2土曜日）
時　午後1時から3時半まで
内容　勤行
　　住職・前住職法話
　　撞鐘・黙祷